

ヒキヒストリーウォーク

(比企一族伝承地巡りウォーク)

東松山市の北部に位置する大岡地区は、丘陵地や農地など自然景観に恵まれています。また古くから人々の生活が営われていたため、古墳などの遺跡も数多くあります。また、この地には、今から約800年ほど前に源頼朝を支援し、鎌倉幕府成立に大きな影響を与えた比企の尼をはじめ、比企一族に関する多くの伝承が残っております。2022年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、有力御家人として、この比企一族の一員である比企能員が取り上げられます。この伝承地をウォーキングで巡り、秋の大岡の地を楽しんでください。

1. 大岡地内の比企一族伝承の地を巡る約6キロのウォーキング

・串引沼 ・比丘尼山 ・秋葉神社 ・宗悟寺 ・城ヶ谷

2. 比企一族について

平安時代末期、比企遠宗（とうむね）は、清和源氏の頭領源義朝（よしとも）の家臣でした。義朝は、久安3年（1147）三男頼朝が生まれると、頼朝の乳母に比企遠宗の妻を任命しました。

その後、武士たちは、朝廷等の争いに巻き込まれ、保元の乱を経て、平清盛と源義朝は立場を異にし、平治元年（1159）頼朝13歳の時、2人の間に争いが起きました。平治の乱です。しかし、源氏方は平氏に敗れ、義朝や2人の兄は死んでしまいました。頼朝もこの戦いに参戦していましたが、捕らえられ、翌年14歳で伊豆国蛭ヶ島に流されてしまいました。

頼朝が伊豆に流されると、比企の一家も頼朝の世話をするため都から武蔵国比企郡に移りました。比企遠宗亡き後、残された妻は、比企の尼として、伊豆の頼朝のために比企の地から食料・衣類・紙などを届け、物心両面で支援してゆきました。

比企一族の世話は、頼朝の流罪から治承4年（1180）平家打倒の旗揚げをするまで、20年間の永きにわたり続いたのです。

頼朝旗揚げ後、比企氏は一族を挙げて頼朝の武士政権「鎌倉幕府」の成立に貢献したのです。

比企家を継いだ比企能員（よしかず）は、幕府内で重要な地位につき、娘の若狭の局は、頼朝の嫡男頼家に嫁ぎ、長男一幡（いちまん）を生みます。しかし、建久10年（1199）1月、頼朝が亡くなり、頼家が18歳の若さで二代将軍となりましたが、頼家の弟の実朝を擁立して鎌倉幕府の実権を握りたい北条氏と比企氏の間で権力の争いが起きてしまいました。

ついに、建仁3年（1203）北条時政は、9月2日「北条邸にて薬師如来の法要があるのでおいでください。」と比企能員を誘いました。能員は平服で、少ない供のみで北条邸に入った途端、殺されてしまったのです。さらに北条氏にひきいられた幕府軍は、比企氏の屋敷を襲い、一幡を殺害し、比企氏は滅亡したのです。

北条時政は、将軍頼家を廃し、伊豆の修善寺に幽閉、翌年7月に殺してしまいました。妻の若狭の局は、夫頼家の遺骨を抱いて、ここ大谷に逃れ菩提を弔ったといわれています。



記号及び名称

- ◎ 大岡市民活動センター
- ① 串引沼
- ② 比丘尼山
- ③ 秋葉神社
- ④ 扇谷山宗悟寺
- ⑤ 城ヶ谷沼

出典：国土地理院ウェブサイト
2021年国土地理院ウェブサイト
をもとに、大岡地区ハートピア
まちづくり協議会作成

